

## Audax Japan 2007 理事会(総会)議事録

開催日時： 2007年10月13日 14:00-16:00  
開催場所： 東京都港区赤坂2-10-1 ワイ・インターナショナル赤坂店 5F  
出席者： 理事、幹事、主催者全員出席（AJ宇都宮は代表が海外出張のためスタッフが代理出席）  
他オブザーバ若干名（次期理事、幹事および、主催者交代者含む）

### 1. 1号議案 会長改選

現会長の任期終了に伴い、新会長の選出が行われた。

- 投票権は副会長、各主催者各1票。以上10票。（会長は選挙管理を行い投票は行わない。また、主催者を今期で終了した愛知、来期から主催する福岡、名古屋も投票権は無い。）
- 公示期間は9月17日～28日であった。立候補者は1名のため、信任投票が行われた。
- 会長立候補者は白木緑氏（立候補に伴うACP連絡係候補の指名は川野岳大氏）である。白木氏が投票権者一致で信任された。

同時に白木氏は副会長として能見氏、平山氏に就任を依頼し、その場で両氏が受諾したため両氏が来期副会長となることが決定した。また、媒体担当として山口氏が就任することとなった。

白木氏は就任に伴う方針表明として以下を示した。

加藤会長の任期期間は Audax Japan 立ち上げの次期であり、白木氏の任期期間は成熟期であると捉えている。前執行部が蓄積した運営手法の良い点を受け継ぎ、欠点を改善していきたい。Audax Japan の成熟としては、会員の自己責任の意識を促進させることが必要と考えている。具体的には以下の方針で運営を行う。

- Audax Japan は事務処理を行うことに徹し、作業を系統的に実施し、処理の効率化を図る。
- 主催者の裁量を大きくし、Audax Japan は各主催者の運営には干渉しない。

白木氏は本会の終了と共に会長に就任する。また、前執行部とは当分の間、引継ぎを行う。

### 2. 2号議案 決算報告

加藤会長から別紙1の通り決算報告がなされ、以下の意見交換が行われた。

- BRM 収入に対し、内訳の説明を求める意見があった。回答として、認定料、メダル代、スポット保険料であった。

- 同様に ACP 支払いについての内訳は、認定料（ブルベカード）、メダル代、RM 会費である。
- BRM の認定料およびカードについて、来年から主催をする AJ 福岡から質問があった。これに対し以下が説明された。AJ への認定料は一人当たり 100 円。ACP へもおよそ 100 円（0.7euro 程度）支払う。ブルベカードを ACP から購入する場合は認定料が含まれており、その分前払いのような形になっている。
- ACP への支払いは 2006 年度分であり、2007 年度分の収入額はそれ以上であることを考えると、今後余剰金の減少が予測されるので、支出に応じて認定料等の調整が行う必要性が示唆された。

提示された決算報告は承認された。

### 3. 3号議案 PBP 概要報告

別紙 2 の通り、本多副会長から 2007 年第 16 回パリ・ブレスト・パリ・ランドヌールの概要報告がなされた。また、加藤会長がブレスト市より贈られたトロフィーを持参した。

サポートについての様々な反省意見が出された。サポートについては次回方針を早めに決定し、参加者各人にそれなりの準備をして貰うことが必要という合意が形成された。

## 4. その他

### 4.1. 08 年度申請状況

平山副会長から 2008 年度 BRM およびフレッシュの申請状況の報告があった。来年は 48 本の BRM と 2 本のフレッシュが行われる。また、PBP 開催の翌年であることから秋開催の BRM が多く開催され、多くの参加者の機会を増やす結果となっている。

### 4.2. 各主催者からの報告

その後、各主催者から運営状況についての報告がなされた。いくつかの主催者はスタッフが少なく、協力者を求めている状況である。

### 4.3. 入会期間短縮の提案

白木新会長から、AJ の入会期間に対する変更について提案があった。

2007 年度は 2006 年 12 月から 2007 年 4 月 30 日までが入会受付期間であったが、2008 年度は 1 月末まで、2009 年度は 2008 年 12 月末までとする予定である。期間短縮は以下の理由による

- 自転車総合保険の期間が 1 月 1 日～12 月 31 日までである
- 会長の作業の軽減
- BRM 開催直近の入会による、保険発効前の BRM 参加の防止

BRM 開始時期が遅い宮城や北海道の参加者に対する影響を諮ったが、現状でもスポット保険が多いことから、影響は比較的軽微ではないかという判断がなされた。ただし、期間短縮について

の広報は参加者が自転車に乗っている秋までに行うことが主催者から要請された。白木新会長は会員には葉書で、また、一般にはサイクルスポーツ誌、ファンライド誌の情報欄を用いて広報する予定であると説明を行った。

以上

2007年10月15日

議長 加藤 孝 印

議事録署名人 平山 晃 印

議事録署名人 本多 海太郎 印

議事録署名人 下國 治 印

## AJ2007年決算報告

概況  
 入会者数は547人で、543人がスポーツエントリーーを利用して手続きをした。  
 なお会費はスポーツエントリーーの場合3,300円、それ以外は4,000円である。

(単位:円)

収 入		支 出		収支差
会員数547人	1,807,900	AJ保険料	1,606,250	2,936円/一人
		主催者保険料	49,550	
		SE基本料	168,000	
		SE手数料	30,113	
小 計	1,807,900		1,853,913	-46,013
BRM収入	1,677,475	ACP支払い	727,058	06年分
SRメダル代	83,000	スポット保険	104,530	立替
ブルベカード売却代金	10,000	通信運搬費	137,214	
AJジャージ差益	89,996	コピー代文具等	73,535	
預金利息	3,376	商標登録	22,260	『ブルベ』
		ウェブ費用	9,020	
		関税	26,200	メダル
		理事会交通費等	85,285	
小 計	1,863,847		1,185,102	678,745
合計	3,671,747		3,039,015	632,732

剰余金残高	
前期末(06年10月)	2,107,947円
07年剰余金	632,732円
今期末残高	2,740,679円

## 別紙 2

### PBP参加報告

2007/10/13

ACPの主導するBRMの最高峰である、四年に一度のパリ～ブレスト～パリ・ランドヌール（PBP）に、112人の日本人が参加した。

全世界からは5312人が参加登録したうち、国別登録数では11番目であった。

日本人参加者のうち、AJを通じて参加資格を得たものは106人であった。

PBP全体の完走率は69.8%、日本人の完走率は61%であった。

全体の完走率がやや下がったのは、50年来の悪天候という気象条件によるもので、参加者は四日間続いた夜間の雨に苦しんだ。

リタイヤにつながる日本人の事故は二件あったが、いずれも幸いなことに人間には殆どダメージがなかった。急病での入院は一件あった。

日本人の参加は前回2003年の20人から飛躍的に増え、「次回は100人を連れてくるように」というACPの期待に十分応えたと言えよう。また女性四人が初めて完走したことは、特筆しておきたい。

また、日本にはブレスト市から「遠来賞」なるトロフィーが贈られた。

参加者が多くなったことに伴い、希望者のためにAJがサポートパックを用意し、バス二台でのサポートとホテルの確保などを行った。これは、ドロップバッグのみを利用した人を含め83人が利用した。

しかし、このパックは人数が多いことによるサービスの内容等にも問題が生じ、またすべてを自己責任で解決して完走するという本来の意味でのランドネの趣旨をも考え併せると、さらに参加者が増えると予想される次回以降は再考を要する。

日本からの参加者は、北フランスの素晴らしいサイクリング環境や地域を挙げての歓迎ぶりに目を瞠り、世界各国からの参加者らと交歓を行った。PBPを体験したものの数が大きく増えたことにより、今後の日本のBRMも、さらなる発展が期待される。